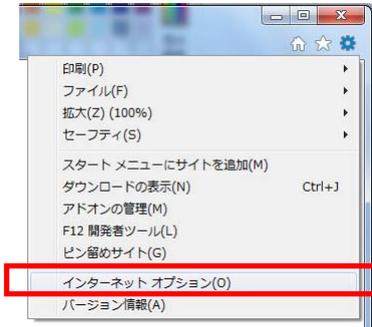


JavaScript 及び CSS(Cascading Style Sheets)を有効にするためのブラウザの設定方法

1. Internet Explorer(IE)の場合

JavaScript と CSS、両方の設定が必要です。

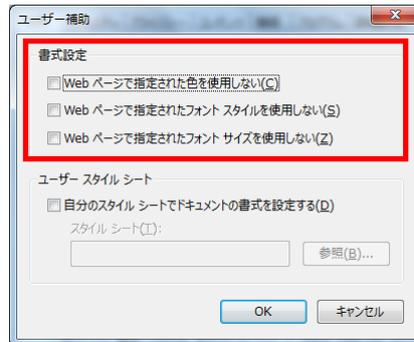
ツールからインターネットオプションを選択します。



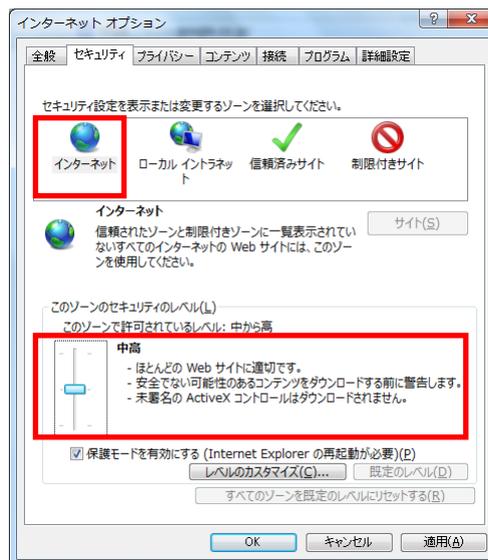
インターネットオプション画面が表示されます。

全般タブを選択し、画面下部のユーザー補助ボタンをクリックします。

ユーザー補助画面が表示されますので、書式設定ですべてのチェックが外れていることを確認し、OK ボタンをクリックします。これで CSS が有効になります。



次に、セキュリティタブを選択し、インターネットのセキュリティのレベルを「中高」に設定します。



適用を押すと、JavaScript の設定が有効になります。

OK ボタンをクリックするとインターネットオプション画面が閉じます。

2. Google Chrome (GC) の場合 JavaScript の設定のみを行います。

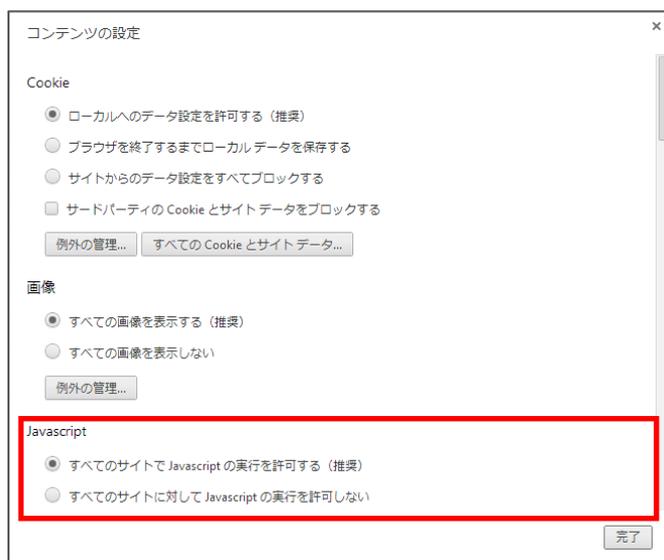


設定をクリックし、設定画面を表示します。

画面下部の「詳細設定を表示する...」という文字をクリックして、詳細設定画面を表示します。

「コンテンツの設定」ボタンをクリックすると、コンテンツの設定画面が表示されます。

「すべてのサイトで Javascript の実行を許可する(推奨)」を選択し、完了ボタンをクリックすると、有効になります。



3. Mozilla Firefox の場合

Firefox の初期設定では JavaScript 及び CSS の使用が有効になっています。

4. Apple Safari の場合

JavaScript の設定のみを行います。

設定画面を開き、セキュリティタブを表示します。

「JavaScript を有効にする」にチェックを入れると、JavaScript が有効になります。

